

## 教育課程編成委員会 第1回議事録

日時：2013年11月26日(火) 19時～21時  
場所：15教室

出席者：白井幸久氏、三沢幸史氏、望月太敦氏、小檜山修平氏、八尾 勝氏、倉持有希子氏、  
上松 剛氏

列席者：渡邊義昭氏、加藤和貴氏、林 恵子氏

### I. 聖書日課 詩編 33 篇 10 節 八尾校長朗読

聖書日課とは、世界中の YMCA と YWCA でその日に読む聖書の箇所が決まっている。この聖書を読むことで世界中の YMCA と YWCA とのつながりをもつことができる。本日は外部の会議ですのでお祈りは省略させていただく。

### II. 議事

#### 1. 委員会の進め方の説明

八尾校長よりアジェンダに従って委員会の進め方と資料の確認がされた。

教育課程編成委員会の規定についての説明が「規定」に基づき行われた。

以下、八尾校長からの説明。

本日は、卒業生、業界関係者にもご出席いただいている。

専門学校では現場通用性の高い教育が求められている。その為には現場や業界の方、卒業生からの意見を聞きながら、カリキュラムに反映させていくことが必要である。

この委員会の目的は、まさのその部分であるが、具体的には、授業そのものを変えるということもあるが、授業の一部にその声を反映させることでも構わないと考えている。

「職業実践教育課程」についての告示は 8 月にされたばかりであり、今年度はこの委員会は 2 回開催する予定である。

専門学校の認可は都道府県知事が認可し、教育施設と呼ばれ、小、中、高、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校は文科省の認可で一般的には学校と呼ばれている。専門学校の教育内容は大学と比べて劣るものではなく、卒業後の活躍も大きな差はないと思われる。そういう状況の中で、中教審ではキャリア教育の大切さが話し合われ、専門学校にも将来的には大きな期待をしたいと考え、また 1 条校の仲間に加えてはどうかという動きがある。その場合には専門学校ではなく、職業大学校などの新しい呼び方になると思われる。

この委員会は、その動きの中で新しくできた制度「職業実践専門課程」に認定されるための要件のひとつである。

委員の皆様には、サポーターとして、YMCA のために、学生のためにご意見をいただき、支えていただきたい。いただいたご意見は、今年度もしくは来年度の授業に反映していきたいと考えている。来年度についても同じようなプロセスを踏んでいく予定である。

## 2. 委員自己紹介

出席委員および列席者が自己紹介を行った。

## 3. 委員長（議長）選出

白井先生を八尾校長が推薦。全員一致で決定。

白井先生よりご挨拶をいただき、議事に移った。

部会に分かれ、8時までそれぞれの学科で話し合いを行うこととなった。

## 4. 部会に移動

介護福祉科の部会：白井氏、望月氏、倉持氏、渡邊氏

作業療法学科の部会：三沢氏、小檜山氏、上松氏、加藤氏

それぞれの学科長がはじめに学科のカリキュラム全体の姿を説明し、その後分野ごと、授業科目の説明を行った。その後、委員の方から意見、質問を交換しながら話し合いを進めていった。

（4名という少人数の中だったので、委員の方々も意見を述べやすかったように感じた。8時まではあっという間に過ぎ、8時15分まで延長して行われた。

## 5. 部会報告

（それぞれの部会の記録は別紙の通りである。より詳細が記録されている。）

介護福祉科 渡邊氏より次のように報告がされた。

カリキュラムの説明が学科長から行われた。

医療的ケアの取り組みについての質問があった。

キリスト教をバックボーンにした学校なのだから、ボランティアなどを取り入れ、YMCAならではの特徴を出していくと良いのではとのご意見をいただいた。

介護福祉士は、さまざまな場面でコミュニケーションをとる必要がある。特に地域とコミュニケーションをつけることに力をつけてほしいとの意見があった。

障害者国体の報告を行った。

今後現場から期待されることについてご意見をいただいた。

認定介護福祉士をふまえたご指摘をいただいた。

作業療法学科 加藤氏より次のように報告がされた。

カリキュラムの説明の後、現場で使えるOTを送り出したい旨が学科長から伝えられた。いただいたご意見は以下の通りである。

一般教養が1年生だけではもったいない。実習に出た後に入れると効果的である。

OTとは何ぞや・・・という部分をもっと学校で教えてもらいたかった。そこがしっかりしていると、現場に出てからゆらぐことが少ないと思う。

実習を受ける際の注意としては、最低限必要な行動を事前に伝えておくこと、どんな実習をしたのか、どんなOTになりたいのかを明確にしておく必要がある。

いくつかの理論からいくつかの推論を打ち出す方法を取り入れてはどうか。

次回の委員会日程

12/26 (木) 19時に決定。

記録 林恵子